

＜エコポリスセンター 地域エコロジー講座 詳細メニュー＞

No.	41	主な対象	小学3年生以上(あいキッズ、寺子屋など) 一般区民向け(町会・自治会・サークルなど)
タイトル	食べものはどこから～食料自給率を考える～(SOE)		
テーマ	循環型社会	形式	講義+ゲーム
所要時間	1時半～2時間	人数	30～40名
推奨 実施時期	年間		
講師・費用	NPO法人センスオブアース・市民による 自然共生パンゲア(無償)	講師派遣数	3人
ねらい・内容	<p>■ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシから食料が国内だけでなく、世界から来ていることをつかむ・先進国の食料自給率を比べ、日本の自給率が38%と低い原因を考える一食生活の変化、輸入の増加等これからの生活目標を考える <p>■内容(250文字程度)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.今朝の食事から、食品がどこから来ているかを知る 2.グループごとに、チラシを切り抜き、肉・魚・野菜ごとに、どこから来ているかを地図にはりつけ、日本とつなげる 3.世界の先進国の、食料自給率を比べる 4.日本の食料自給率が低い原因をグループで考えあう 5.原因を絞り込み、その対策を考えあう 6.グループ発表ー自給率の低い原因と、その対策 7.各人がこれからの行動目標を考え、短冊に書き発表する 8.今日の学びから、自分の意識の変化をふりかえる <p>■雨天時対応 なし</p>		
依頼元にご用意いただく材料等	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具・水筒・ハンカチなど ・黒マジックペン 各人 ・のり各人 	講師側準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・PC,プロジェクター ・世界地図・日本地図の大判複写 グループ分 ・食料自給率のグラフ等・ ・日本・板橋の農業人口の変化・食料輸入の変化グラフ(肉類・魚類・野菜類・肥料、飼料など) ・グループの話し合いワークシート(原因と対策) ・各人用短冊 人数分 ・太マジックグループ箱
依頼元に必要な設備・機材	<ul style="list-style-type: none"> ・机ーグループ作業用 ・椅子一人数分 ・スクリーンなければカベ利用も可 	実施場所	・会議室・ホール・教室
依頼元必要スタッフ数	10人に一人		
打ち合わせ	<p>【対応時間】9時～17時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話かメールで連絡がとれるようお願いいたします。NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲアのスタッフからご連絡差し上げます。場合によっては直接会場で下見・打ち合わせをさせていただきます。 		
その他	<p>講師謝礼につきましては、エコポリスセンターにて負担いたします。</p> <p>★確定した【参加人数・班人数】を開催10日前までにご連絡ください。</p>		